

平成27年9月遠野市議会定例会会議録（付録）

会期日程（14日間）

日次	月日	曜	会議区分	開議時刻	日 程
第1日	9月4日	金	本会議	午前10時	開 会 1 諸般の報告 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 議会運営委員長報告、採決 4 議案の上程 (議案第50号から議案第70号まで 21件) 提案理由の説明 5 決算・予算等審査特別委員会の設置 (議案の付託)
			委員会	本会議終了後	決算・予算等審査特別委員会（正副委員長互選）
			諸会議	委員会終了後	議員全員協議会
第2日	9月5日	土	—	—	休 会
第3日	9月6日	日	—	—	休 会
第4日	9月7日	月	本会議	午前10時	一般質問
第5日	9月8日	火	本会議	午前10時	一般質問
			委員会	本会議終了後	常任委員会（請願審査等）
第6日	9月9日	水	委員会	午前10時	決算特別委員会
第7日	9月10日	木	委員会	午前10時	決算特別委員会
第8日	9月11日	金	委員会	午前10時	決算特別委員会
第9日	9月12日	土	—	—	休 会
第10日	9月13日	日	—	—	休 会
第11日	9月14日	月	委員会	午前10時	決算特別委員会(発議案締切日)
第12日	9月15日	火	委員会	午前10時	予算等審査特別委員会
第13日	9月16日	水	委員会	午前10時	予算等審査特別委員会
第14日	9月17日	木	諸会議	午後1時	議員全員協議会
			本会議	午後2時	1 諸般の報告 2 決算特別委員長報告 (議案第50号から議案第58号まで9件) 質疑、討論、採決 3 予算等審査特別委員長報告 (議案第59号から議案第70号まで12件) 質疑、討論、採決 4 議員の派遣について 質疑、討論、採決 閉 会

議案等一覧表

〔市長提出議案〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
50	平成26年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別委員会	9月17日	認定
51	平成26年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
52	平成26年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
53	平成26年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
54	平成26年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
55	平成26年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
56	平成26年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
57	平成26年度遠野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	原案可決
58	平成26年度遠野市水道事業会計決算の認定について	〃	〃	認定
59	遠野市清養園クリーンセンター条例の一部を改正する条例の制定について	予算等審査特別委員会	〃	原案可決
60	遠野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
61	遠野市市有林造成基金条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
62	遠野市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
63	岩手中部広域行政組合規約の一部変更の協議について	〃	〃	〃
64	平成27年度遠野市一般会計補正予算（第3号）	〃	〃	〃
65	平成27年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃
66	平成27年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃
67	平成27年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃
68	平成27年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃
69	平成27年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃
70	平成27年度遠野市水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃

〔報告案件表〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
7	継続費精算報告について	—	—	—
8	平成26年度遠野市における健全化判断比率及び平成26年度の遠野市公営企業における資金不足比率について	—	—	—
9	市が出資している法人の経営状況の報告について	—	—	—
10	公用車事故に係る損害賠償に関する専決処分について	—	—	—

一般質問一覧表

質 問 者	質 問 の 要 旨
<p>佐々木 大三郎 議員 (一問一答)</p>	<p>1 社団法人遠野ふるさと公社の経営状況について (1) 事業の収支内容が赤字経営の原因は何か。 (2) 「遠野スタイル自立・連携行動プラン」の取組状況は。 (3) 事業の収支改善策として「事業部制」の採用を検討すべきと考えるかどうか。 (4) イオン盛岡南店(結いの市)の収支状況は。 (5) 風の丘青果部の収支状況は。</p> <p>2 医師不足の対応状況について (1) 医師不足の現状は。(診療科別の不足人数) (2) 2～3年前と比較した医師の増減傾向は。 (3) 今年度新設されたICT・医師確保担当の配置目的は何か。 (4) 医師招聘に向けた今後の取組策は。 (5) 人工透析患者に対する今後の救済策は。</p>
<p>小 松 大 成 議員 (一括質問)</p>	<p>1 マイナンバー制導入に対する市長の見解は マイナンバー制度で10月から始まる個人番号通知まで1ヶ月余りとなった。この制度導入に対する国民の理解は進んでいるとは言えず、マスコミ報道でもこの制度を知らない国民は4割以上に上るとされ、知っているとした国民の中には「年金情報の流出問題などで国の情報管理のあり方に不信感が高まっている」と答えている。年金情報とは比較にならない集積された個人情報情報の漏洩に対する不安などが払拭されないままでの制度の施行に疑問を抱くが市長の見解を伺う。</p> <p>2 市内小中学校のいじめ問題の状況を伺う 学校におけるいじめ問題は社会の切実な問題となっている。県内に於いても、いじめを発端とした自殺事件が発生し、多くの県民が心を痛めている。いじめ自殺で、その度に事件の教訓が語られるが、その教訓が生かされず同じような事件が繰り返される。市内においてはこれまでいじめ自殺のような事件はないと信じているが、専門家は「何処にでも起こりうる事件」と警報を発している。事実、私も数年前、市内中学校のいじめ問題の相談を受けた経緯がある。市内小中学校のいじめの有無とその対策を伺う。</p>
<p>多 田 勉 議員 (一問一答)</p>	<p>1 公有財産の実態と効率的運用に向けた方策について 当市における公有財産の実態と課題をどのように捉え、今後の総合計画等の中でどう位置付けていくのか。 特に、投資的効果と維持管理面との検証がなされ、公有財産の効率的運用に沿った管理がなされているか、公有財産の位置付けについて市長の見解を伺う。</p> <p>2 行政組織の配置にかかわる見直しについて 新庁舎建設に着手しているが、完成後における行政サービスの向上、交通弱者への配慮、内部統制の充実など、更なる発展への手立てとなることが期待される。 このような時期を改善の最も良い時期と捉え、見直しをすべきと考えるが市長の見解を伺う。</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨
<p>小 林 立 栄 議員 (一問一答)</p>	<p>1 自主防災組織の活性化策について 自助、共助、公助による防災と減災の地域づくりに取り組む中で、地域住民がお互いに助け合い守り合う共助の重要性が高まっている。自主防災組織の活動を充実させ、地域防災力を向上させるための取組について伺う。 (1) 遠野市の自主防災組織の活動状況について (2) 防災士制度の利活用について (3) 防災環境整備に要する経費への助成について</p> <p>2 障害者差別解消法の施行に向けた取組について 差別を解消し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目的として、差別的取扱いの禁止、合理的配慮の不提供の禁止を掲げる障害者差別法が制定され、平成28年4月より施行される。施行に向けた取組について伺う。 (1) 対応要領の作成など施行に向けた取組について (2) 障がい者権利条例の制定について</p> <p>3 青少年の成長を応援する取組について 青少年の未来は遠野の未来であるとする。青少年たちの成長を応援し、また地域の魅力創生につながる取組について伺う。 (1) 青少年による議会の開催について (2) 青少年が企画する活動経費への助成について</p>
<p>瀧 本 孝 一 議員 (一問一答)</p>	<p>1 地区センターの役割と体制の見直し等について 「第2次遠野市進化まちづくり検証委員会」の最終答申を受け、提言されているこれからの地区センターの役割や体制の見直し、方向性等を伺う。 (1) これまで果たしてきた役割現状での問題点は。 (2) 職員数を含めた体制の見直しの中身は。 (3) 今後の地区センターの役割と方向性は。 (4) 新設される(と思われる)地区センターの時期や場所、使用する建物は。 (5) 総合支所機能の低下はないか。連携のあり方は。</p> <p>2 学校教育現場における「いじめ」の把握と対策について 昨年5月の滝沢市、本年7月の矢巾町におけるいじめによると思われる中学生自殺事件は、全国的に大きな衝撃をもたらした。本市における学校教育現場の「いじめ」の実態や把握と対策等を伺う。 (1) これらの事案に対する教育長の認識や思いは。 (2) 本市における不登校児(生徒)やいじめの実態は。 (3) 生徒同士、生徒と教師、教師間相互のいじめとふざけやからかい等の区別や認識の違いの有無は。 (4) 教師間の情報の共有と連携・相談のあり方は。 (5) 児童生徒への指導、いじめの対策は。</p>
<p>細 川 幸 男 議員 (一括質問)</p>	<p>1 新庁舎建設計画についての経緯と進展状況について 新庁舎建設に対し、一般市民は建設には賛同しても、将来的に市民人口が減少すると想定している。 遠野市の市財政を心配する市民は子供たちの将来に負担が重荷になるなどと心配する声が聞こえてくるが、計画を進める際に市民理解を得られる自信の程を尋ねる。</p> <p>2 遠野市の農産特産物について</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨
	<p>遠野市の特産物と言えば、宮守ワザビや暮坪カブと言われるが、現状と今後の取組、さらに特産物に対する市長の基本理念を尋ねる。</p> <p>3 幼児教育について 旧遠野市では、保育協会に移管しているが、旧宮守村の現状について尋ねる。</p>
菊池美也議員 (一問一答)	<p>1 ことばの教室・きこえの教室のこれからのあり様について</p> <p>(1) 巡回指導教室を含む『ことばの教室』の存続を 児童数の減少は、ここ数年間避けることが出来ない。話すことが苦手な児童のために、巡回指導教室を含めた現行の仕組みを今後も維持・存続するのか。</p> <p>(2) 『幼児ことばの教室』の土日開設について 親御さんの、通級と仕事の両立を支援し、負担と軽減するために、土日に教室を開設する考えはないか。</p> <p>(3) 啓発について ことばの悩みを抱えている児童、そして家族がいるが、まだまだ知られていない。このことについて、より広い周知が必要と思われるがどうか。</p> <p>(4) 『きこえの教室』開設について きこえに対しての教育が必要な子どもの存在を把握した際、どのような手立てを講じるのか。きこえの教室を開設するという考えはあるのか。</p>
菊池巳喜男議員 (一括質問)	<p>1 水資源の保全をどのように認識しているか 林野庁の調べによると、平成26年までに全国で外国資本とみられる森林買収事例が92件、1,153ヘクタールが確認されているが、世界的に水資源の必要性が高まっている中で、自治体の間には自己防衛のための条例を制定する動きが広がっている。遠野市はどのように認識しているのか。</p> <p>2 岩手県の死亡家畜処理方法についてどう考えるか 東北農政局調べでは、岩手県の肉用牛と乳牛の飼養頭数は136,200頭で、東北管内では第2位は宮城県104,900頭であり、31,300頭上回り、第1位となっている。一方で、遠野市内の家畜飼養頭数は、農林業センサスの統計(平成22年)6,700頭余りであり、畜産所得に占める頭数の裏づけが示されている。しかし、死亡牛の処理が他県に任せっぱなしであり、県としては自ら何も対策を取っていない現状でもあるが、この状況をどのように考えているのか。</p> <p>3 平成26年度遠野市社会福祉協議会決算をどのように見るのか 遠野市社会福祉協議会の平成26年度決算の概要が7月号の「とおの社協だより」に掲載され、26,364千円の赤字を計上した旨が発表されているが、遠野市としては、福祉事業での社会福祉協議会の果たす役割の大きさの中で、どのような対策を講じていこうとしているのか。</p> <p>4 全国学力テストから見えるものと今後の取組むべき課題は 文部科学省は去る8月25日、全国小学6年と中学3年を対象に全国学力テストを実施し、結果を公表したが、岩手県の課題も多いが遠野市の取組は。</p>
菊池充議員 (一問一答)	<p>1 和牛振興対策について</p> <p>(1) 遠野市牛確立強化対策事業の成果と課題について</p> <p>(2) 公共牧場再編整備事業で整備された施設の利用実態と今後の計画について</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨
	(3) 後継者、新規就農者の育成確保対策について

署 名

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

遠野市議会議長 新 田 勝 見

遠野市議会議員 菊 池 充

同 瀧 澤 征 幸

